

開講科目名 / Course	小児看護援助論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	高野 政子	
担当教員名 / Instructor	高野 政子、草野 淳子、足立 綾	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	小児の発達過程の特質を理解するための主要理論に基づき、小児の行動を多面的にとらえ、発達段階に応じた日常生活の援助方法と保育技術を習得する。また、小児の病態について理解し、小児の健康障害を持つ小児とその家族への看護について深く学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の各期における成長・発達の特徴を説明できる。 2. 小児とその家族や環境（状況）による看護について説明できる。 3. 小児の特徴的な疾病の経過と看護について説明できる。 4. 障害のある子どもの特徴と家族への看護を説明できる。 5. 小児領域の特徴的な疾病と病態・治療について説明できる。 6. 小児領域の特徴的な疾病について看護を説明できる。 	
DPとの対応	1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 幼児前期の成長発達と課題 02. 学童期・思春期・青年期の成長発達と課題 03. 病気をもつ小児と家族看護 04. 在宅療養児の支援と災害時の小児と家族の看護 05. 小児の状況（環境）による看護の特徴（入院時の看護、外来看護） 06. 小児における疾病の経過と看護（急性期、慢性期、周手術期） 07. 親子関係に問題のある場合の看護（育児不安、児童虐待） 08. 障害のある小児の理解と看護（障害の分類、重症児、肢体不自由など） 09. 障害のある小児の理解と看護（障がい児の栄養、摂食障害と看護） 10. 小児の感染症と予防接種 11. 小児の病態と看護1（不機嫌・痛み・呼吸困難・チアノーゼ） 12. 小児の病態と看護2（発熱・けいれん・ショック） 13. 小児の病態と看護3（電解質異常・下痢・嘔吐・脱水・便秘） 14. 小児の呼吸器系疾患と看護 15. 小児の内分泌・アレルギー疾患と看護 16. 小児の循環器系と運動器疾患と看護 17. 小児の消化器疾患と看護 18. 小児の血液・造血器・悪性疾患と看護 19. 小児の腎・泌尿器疾患と看護 20. 小児の脳神経疾患と看護 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の疾患とその特徴については講義の前に個人での調べ学習をして提出する。 ・小児のイメージがない学生もいるため、視聴覚教材を活用してイメージできるように工夫している。 	
時間外学修	小児の疾患については、講義前に予習レポートの提出を求める。	
評価方法と評価割合	筆記試験（90%）、レポート提出状況（10%）等を総合的に評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1,2]（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	高野政子：病院のNICU、小児病棟、小児科外来の看護師 草野淳子：保健所の保健師 足立綾：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	講義では、臨床で経験した事例を話して、テキストの内容を具体的に説明する。	